



中学生が先生役！夏休み中の小学生学習支援！

～第二中学校区、第三中学校区、野幌中学校区、大麻東中学校区、江陽中学校区、中央中学校区～

各中学校区で中学生が小学校の夏休み学習会に参加し、小学生の学習を支援する取組が行われました。小中一貫教育の本格導入前から実施されている取組で、現在では、自分が小学生の時に教えてもらった経験がある中学生が支援する側になっている中学校区もあります。小学生にとっては、勉強がわかるだけでなく、中学生が身近な目標（モデル）となっています。また、中学生にとっては、自己肯定感や自己有用感が高まるとともに、キャリア教育としての効果も感じられる取組となっています。



第二中学校区の様子（第二小）



第三中学校区の様子（第一小）



野幌中学校区の様子（野幌若葉小）



大麻東中学校区の様子（大麻東小）



江陽中学校区の様子（江別太小）



中央中学校区の様子（対雁小）

小学生と中学生が一緒に楽しく体育の授業を受けました！

～大麻東中学校区 小中合同体力づくり～

中学1年生が出身校の小学校に出向き、小学4年生と一緒に体力づくりの合同学習を行う取組が8月29日（金）に大麻東中学校区で行われました。昨年度から取り組まれている実践で、「体力をバランスよく、より高い状態に保とうとする意識を育成する」「自分の体力を把握させる」「小・中学生の交流を図る」ことを目的に実施されています。当日は、小学校の先生が中心



大麻泉小での合同体力づくりの様子

となって指導を行い、中学校区で作成した動画を体育館壁面に大きく映し出し、先生や中学生が運動のポイントを説明しながら、様々な運動に取り組みました。小学生に優しく声をかけたり、励ましのハイタッチをしたりする中学生、中学生を目標にして一生懸命に体を動かす小学生の姿が体育館いっぱいに広がり、みんなで楽しく爽やかな一時を過ごしました。市教委予算を使ってバスを手配し、中学校と2つの小学校間のピストン運行を行い、移動時間を短縮して子どもたちの活動時間を十分確保するように工夫がされており、充実した内容になっています。授業の途中で、3月に子どもたちを卒業させた旧6年生の担任の先生が活動の様子を参観にくと、中学生から歓声があがり、笑顔がたくさん見られました。体力向上の他、体育科の授業改善、自己肯定感の高揚、中1ギャップの緩和等、たくさんの効果が感じられる実践となっています。



大麻東小での合同体力づくりの様子

いざという時のために…地域と一緒に防災教室！ ～野幌若葉小 CS・石狩教育局社会教育巡回訪問～

9月6日（土）に野幌若葉小で石狩教育局の社会教育巡回訪問が実施され、「防災学校」の視察やコミュニティ・スクール（CS）、地域と連携した教育活動等に関する説明・協議が行われました。

「防災学校」は、自衛隊や警察、ジョイフルエーカー、地域 NPO「赤鼻塾」、市役所危機対策・防災担当、地域自治会、学校運営委員の方々の協力により、発達段階に応じた防災教育が行われました。子どもたちは実物に触ったり、災害が起きたことを想定して避難したり、避難所運営を考えたり等、様々なメニューを通して体験的に学びました。

他にも、協議では今年度から始まった酪農学園大と連携した「学校菜園プロジェクト」や北海道情報大と連携した「プログラミング学習」の実践についても説明があり、大学が近くにあるという学校の特色を生かした教育活動の様子が紹介されました。

野幌若葉小 CS は、自治会役員さんや歯科医院長さん、近隣幼稚園の園長さん、民生・児童委員、PTA 役員の方々等が学校運営委員になっており、様々な立場・視点から学校運営等に対するご意見をいただいています。また、委員会当日は授業参観を設定し、実際に子どもたちの姿を観ていただいた上で意見交換を行う等、熟議の仕方を工夫しています。

CS での充実した熟議や、地域の人材、関係機関、民間企業、大学等と連携した地域学校協働活動を進めている野幌若葉小の取組については、石狩教育局からも高い評価をいただきました。



自衛隊や警察の方からパトカーや自衛隊車両、災害救助用具等について学ぶ



ジョイフルエーカーの方から防災グッズについて学ぶ



地域の NPO 法人「赤鼻塾」の方から避難の仕方について学ぶ



「自助」「共助」「公助」について学ぶ



自衛隊の方から災害への備えや救助の様子について学ぶ



市役所危機対策・防災担当の方を招き、地域自治会の方と一緒に避難所運営ゲームをする



学校と石狩教育局、市教委による協議